

## 裾野市観戦スポット（市主催）

- イベント概要** 自転車の車列がやってくるまでの間、ダンス・吹奏楽演奏などのステージイベントやスポーツ体験ブースなどを楽しんだ。レース通過時には、和太鼓演奏で応援しながらオリンピックを直接観戦した。
- 一般観覧** コロナ感染防止対策として、事前申込みをした市民に限定。319人が申し込み、250人がコース間近で観戦した。
- イベント内容** レース到着前後の時間も楽しめるように、下記のイベントを開催した。



### 【ステージイベント】

- 吹奏楽演奏（沼津中央高校吹奏楽部）
- ダンスパフォーマンス（Dance舞夢）
- 和太鼓演奏（五竜太鼓）
- トークとオリジナルソング歌唱（フルヤトモヒロ）
- ロードレース応援ガイド（High Ambition女子サイクリングアカデミー）
- オリパラ公式グッズ抽選会

### 【体験イベント】

- ロードバイク試乗（High Ambition女子サイクリングアカデミー）
- 缶バッジづくり（富士山こどもの国）
- マグダーツ・輪投げ（市スポーツ推進委員会）
- ポッチャ・フライングディスク（特定非営利活動法人いろは）
- 同時開催イベント「はじまりの森」



## 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会推進事業



## 大会レポート （ダイジェスト版）

令和3年11月

裾野市産業部産業振興課  
オリンピック・パラリンピック推進室

## 東京2020パラリンピック聖火フェスティバル

### 裾野市採火式

- 開催日** 令和3年8月17日（火）
- 開催時間** 7時30分から8時 **開催場所** 裾野市役所玄関前



裾野市採火式では、佐野在住の江森甲二氏が10年以上にわたって保管している「ふじさんの火」を使用。東中学校の生徒と障がい者支援3団体（すそのきせがわ会、裾野市手をつなぐ育成会、裾野市身体障害者福祉会）の皆様21名によるトーチリレーが行われた。市長の元に届けられた火は、ランタンに点火され、日本平夢テラスまで運ばれた。

### 静岡県集火式

- 開催日** 令和3年8月17日（火）
- 開催時間** 11時から11時30分 **開催場所** 日本平夢テラス（静岡市）

静岡県集火式では、県内全35市町から持ち寄られた火がひとつに融合され、静岡県の火となった。この火を使用して、静岡市、御前崎市、菊川市、浜松市の県内4市で東京2020パラリンピック静岡県聖火リレーが行われ、四ヶ池公園陸上競技場（浜松市）での出立式を経て、国立競技場の聖火台に届けられた。



### 大会レポートウェブサイト掲載

この大会レポートは裾野市ウェブサイトにも掲載しています。こちらからご覧ください。



### 大会記録動画

東京2020オリンピック・パラリンピック大会記録動画「その道は世界とつながった-東京2020裾野の熱風-」はこちらからご覧ください。





## 交通規制及び混雑緩和対策

聖火リレー、自転車競技ロードレースとも公道を使用するため、実施にあたっては車両通行止めとする交通規制が実施された。大会組織委員会、県、市で連携し、交通規制の周知を図る目的で住民説明会を開催し、地域住民の理解と協力を求めた。

また、交通規制や混雑緩和対策への協力を求めるチラシ、ポスターの配布や、ウェブサイトへの掲載、無線放送での周知を実施した。



東京2020オリンピック聖火リレー裾野市ルート交通規制等説明会(5月17日月曜日)



自転車競技ロードレース交通規制等地域説明会(5月11日火曜日)



## ボランティア、コースサポーターの活躍

一般公募により集まったボランティアが大会の運営を支えた。事前研修を受けたボランティアは、聖火リレーと自転車競技ロードレース当日に大会スタッフとして市職員と共に精力的に活動した。聖火リレーには91人が県管轄の沿道整理員として、自転車競技ロードレースには28人が受付、会場案内、熱中症対策所、休憩・応援・飲食エリア管理、出展ブース及び大会公式ライセンス商品販売待機列整理、会場内消毒等として参加した。

また、自転車競技ロードレースのコース沿道では、資機材の設置や観客への注意喚起を行う「コースサポーター」として90人が参加した。



## 東京2020オリンピック聖火リレー【裾野市走行】

**裾野市走行日時** 令和3年6月25日(金) 14時38分から15時21分まで

**裾野市区間**

- スタート：裾野市運動公園陸上競技場内トラックメインスタンド正面
- ゴール：トヨタ自動車(株)東富士研究所前第2駐車場
- 総距離：2,336m ●聖火ランナー数：12人

サポートランナー：裾野高校陸上競技部20名が聖火ランナー第1走者の後に続いてサポートランナーとして走行した。

聖火リレーとは、ギリシャ・オリンピアの太陽光で採火された炎を、ギリシャ国内と開催国内でリレーによって開会式までつなげるイベントである。2021年3月25日に福島県からリレースタートした聖火は、全国の都道府県をリレーして裾野市へとやってきた。

東京2020オリンピック聖火リレー裾野市走行は、静岡県開催の3日間の最終日である6月25日(金)に、5番目の市町として実施された。当市のルートは、運動公園陸上競技場のトラックからスタートし、聖火リレープレゼンティングパートナーであるトヨタ自動車(株)東富士研究所を結ぶルートであった。

公募等により選出された聖火ランナー12名が、1人あたりおよそ200mの距離を聖火リレートーチを掲げて聖火をつなぎ、これから開幕となるオリンピックへの関心と期待を呼び起こす役目を果たした。



## 東京2020オリンピック聖火リレー【独自盛り上げイベント】

**実施日時** 令和3年6月25日(金) 11時30分から16時30分まで

**実施内容**

- (1) プレイベント(フルヤトモヒロ氏によるフリートーク、すそのん写真撮影会)
- (2) オープニングイベント(裾野高校吹奏楽部生徒による吹奏楽演奏、オリンピッククイズ)
- (3) ミニセレブレーション(富岳台・富岳南保育園児による和太鼓演奏、中継地セレモニー、聖火ランナー出発)
- (4) エンディングイベント(お楽しみ抽選会)

東京2020オリンピック聖火リレー裾野市走行のスタート地点となった運動公園陸上競技場では、聖火リレーの前後において、市独自の盛り上げイベントが開催された。裾野市在住のシンガーソングライターのフルヤトモヒロ氏がイベントの司会進行を務め、市マスコットキャラクターのすそのんとの写真撮影会、オリンピッククイズ、オリンピックオフィシャルグッズが当たるお楽しみ抽選会が行われ、会場を大いに盛り上げた。

裾野高校吹奏楽部生徒による吹奏楽演奏や、富岳台保育園・富岳南保育園園児による和太鼓演奏も行われ、聖火リレーの祝祭感に花を添えた。聖火の出発を祝うイベントである「ミニセレブレーション」では、市長とすそのんが出迎える中、西中学校3年の益田紗華さんが登場し、裾野市最初の聖火ランナーとして、市長から点火された聖火をトーチに灯して、観覧者からの温かい拍手を受けながら、トラック上に設置されたレッドカーペットの上をスタートした。新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、事前申込みをした県内居住者に限定しての観覧となり、陸上競技場スタンド席で、269人が聖火リレーを観覧した。



## 東京2020オリンピック自転車競技ロードレース(男子)の開催

**開催日** 令和3年7月24日(土)

- スタート/武蔵野の森公園(東京都) 11時00分
- ゴール/富士スピードウェイ(小山町) 18時00分

●レース全体の走行距離 244km ●裾野市内の走行距離 19.2km

●裾野市内の到着時刻 14時30分

男子ロードレースには130人の選手がエントリー。11時に東京都の武蔵野の森公園をスタートした選手たちは、14時30分頃に裾野市にやってきた。先頭集団の5人が通過してから約15分後にやってきたのは、約120人の大集団。選手は富士山麓の須山地区を勢いよく駆け上がり、コース最高標高地点(標高1451m)の水ヶ塚を目指した。五輪史上屈指の山岳コースを制したのは、エクアドルのリチャード・カラパス選手で、タイムは6時間5分26秒だった。日本からは、新城幸也選手と増田成幸選手が出場。新城選手は6時間15分38秒で35位、増田選手は6時間25分16秒で84位だった。



## 東京2020ライブサイトin裾野市(大会組織委員会・県・市の共催)

**イベント概要**

大型スクリーンを利用した競技中継を楽しみながら、レース通過時は屋外の特設観戦場所から観戦した。

**一般観覧**

コロナ感染防止対策として、事前申込みをした市民に限定。109人が申し込み、96人が目の前を走り抜ける世界のトップ選手を応援した。

**イベント内容**

競技ガイドによるロードレース解説、大会公式ライセンス商品販売、飲食販売(すやまうどん、いなり寿司、大福、コカ・コーラ社飲料)、毎日新聞社出展ブース、すそのん・競技ガイド写真撮影会、競技ガイド質問BOXの設置などが行われた。



**競技中継における競技ガイドはオリンピックや現役選手3名が務めた。**

**沖 美穂氏** / 公益財団法人JKA自転車競技振興室所属。元自転車ロードレース選手。オリンピック2000年シドニー大会、2004年アテネ大会、2008年北京大会に3大会連続出場。

**鈴木 真理氏** / TRUTH BIKE所属。自転車ロードレース選手。オリンピック2004年アテネ大会出場。現在は、小学生から大学生を中心にコーチとしても活動。

**佐野 淳哉氏** / レバンテフジ静岡所属の自転車ロードレース選手。2014年全日本自転車競技選手権大会ロードレース優勝。

